

### 日本語ドメイン名の普及促進を目的とし、関連する包括的な活動を推進する組織



**Jump** [www.jdna.jp](http://www.jdna.jp)

**Jump** [日本語ドメイン名協会.jp](http://日本語ドメイン名協会.jp)

#### 問い合わせ先

##### JDNA

**E-mail** [sec@jdna.jp](mailto:sec@jdna.jp)

**tel** 03-5297-2311 (JPNIC内)

**fax** 03-5297-2312

#### ■組織概要

JDNA (Japanese Domain Names Association) は、日本語ドメイン名の普及促進を目的とし、関連する技術標準化の推進や技術仕様の検討、対応アプリケーションの開発支援、情報提供などの活動を行っている。1998年頃からアジア太平洋地域を中心に活発化し始めた国際化ドメイン名 (Internationalized Domain Name) の標準化と、1999年にJPNICに設置されたIDN調査研究タスクフォースの活動などの成果を参考としつつ、標準化推進活動を経て、2001年7月に営利を目的としない任意団体として発足した。

組織は、総会により選出された幹事会と、

幹事会によって設置された作業部会、およびそれらの活動をサポートする事務局 (JPNIC内に設置) によって構成される。

#### ■活動内容

主な活動内容は次のとおり。

- (1) 日本語ドメイン名に関する情報交換
- (2) 日本語ドメイン名の表記法の規定
- (3) 日本語ドメイン名を実現する国際化ドメイン名の標準化の推進
- (4) 国際化ドメイン名システム (DNS) の開発・機能拡張支援
- (5) 日本語ドメイン名対応アプリケーションの開発支援
- (6) 日本語ドメイン名対応システムの相互運用性の向上・普及
- (7) その他協会の目的に沿った関連事業 (JDNA事務局)

### PKI関連の相互運用性実証実験を深め、昨年実施のインシデント被害額調査の算定式の検証を進める



**Jump** [www.jnsa.org](http://www.jnsa.org)

#### 問い合わせ先

##### 日本ネットワークセキュリティ協会

**E-mail** [sec@jnsa.org](mailto:sec@jnsa.org)

**tel** 03-5633-6061

**fax** 03-5633-6062

JNSA (Japan Network Security Association) は昨年特定非営利活動法人 (NPO) となり、現在約130社の会員を擁している。2年前から続けているIPsec相互接続実証実験もIPAから報告書を公開しており、昨年はPKIの実用化を目前に控えて、認証局 (CA) の相互運用性の実証実験を行い、大きな成果を取ることができた。2002年は引き続きCA環境を実用化するにあたって大きな障害となっているアプリケーションにも目を向け、実証用サンプルアプリケーションの開発なども計画している。

2001年はウイルスが日本国中で猛威を振るい、新聞やテレビを賑わしたが、日本

では被害額についてほとんど情報が公開されていない。JNSAではこのようなインシデントの被害額調査に挑戦し、被害額の算定に関するモデル式を作成するなどの成果を収めた。今年度はこのモデル式をさらに精査し、広く使ってもらえるようにしたい。また、個人情報保護やサイバー犯罪などの法律問題にも、JNSAとしての立場からさまざまな情報交換や提言を行っている。これに関連して、認定制度や資格制度などの検討も始めている。

さらに、経済産業省などの支援のもと、セキュリティー技術者の不足に対応するために、基本的な業務と必要なスキルの相関関係を示す鳥瞰図を作り、産・官・学をはじめとして、業界だけではなく、法律などの専門家も含めた「フォーラム」の開催を企画している。

(安田直義 日本ネットワークセキュリティ協会事務局)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)